

# 中学校第1学年(少人数コース) 英語科学習指導案

日時 平成24年10月2日(火)

指導者 1年担任 教諭 瀧川 尚樹

1 題材名 「キング先生の家族」(ONE WORLD English Course 1: Lesson 4)

## 2 題材について

### (1) 題材観

本題材は、キング先生が授業で、生徒たちに家族の写真を見せて紹介し、その後、生徒たちが家族についてさらに質問をするという内容となっている。そして、その題材を通して、家族や友達など第三者について説明をしたり、質問をしたりすることを目標としている。

言語材料としては、人称代名詞や疑問詞Who is～?とその応答、疑問詞Whose(名詞)～?とその応答を学習する。また語彙に関しては、特徴・外見などを表す形容詞が数多く扱われている。これらの学習を通して、人や物について説明したり、情報を交換したりするために必要なスキルが身につくと考えられる。

### (2) 生徒の実態について

本校の1年生では、少人数授業を実施している。現在は2学級を名簿順で区切って3学級に分けた等質クラスで授業を行っており、本学級は1組の男子の名簿前半の3分の2および女子の名簿後半の3分の2の生徒から成り、男子12名、女子12名、計24名である。

英語学習に対して苦手意識を持っている生徒も見受けられるが、授業に概ね意欲的に取り組んでいる。学力差は大きく、また、定期テスト等の結果からも基礎・基本の定着が不十分な生徒も見られる。

### (3) 指導観

本題材では、自分の家族や友達の中から1～2人を選び、その人物について英語で紹介することを目標としている。教科書のキング先生の家族紹介を参考にし、応用させることで、自己表現につなげていく。

また、教科書のVocab Builderを通して、特徴を表す形容詞の語彙を増やし、表現の幅を広げる。そして、人称代名詞を適切に使わせることで、文のつながりや流れをより意識した英作文に取り組ませたい。

文法事項に関しては、疑問詞who/whose～?の文の学習時には既習事項であるwhat～?の疑問文と比較して示し、定着を図る。また、人称代名詞は様々な使い方があり、習得に時間がかかるため、授業開始時に行う帯学習を通して、継続的に復習を行う。文の組み立て方(語順)の理解が不十分な生徒が見られるので、英作文の際に日本語と英語の語順の違いを再度確認する。

## ICT活用のポイント

### ①教師の活用

- ・パソコン、プロジェクタ、スクリーンを以下の目的で活用する。
- ・導入のクイズで、教科書のイラストの一部を拡大提示し、生徒の興味を引く。
- ・文型の説明・練習で、英文やイラストを提示し、視覚的に分かりやすくする。

### ②生徒の活用

- ・実物投影機を活用して、書いた英文などをクラスで共有する。

### 3 題材の目標

- ・ 家族や友達について英語で紹介することができる。
- ・ 知らない人や持ち主が分からない物について情報を交換することができる。
- ・ 人称代名詞の意味と用法を理解し、正しく使い分けることができる。

### 4 題材の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	①積極的に活動に取り組み、英語を使おうとしている。
外国語表現の能力	①家族や友達についての紹介文を英語で正しく書くことができる。 ②家族や友達について相手に伝わるように話すことができる。 ③知らない人や持ち主について、尋ねたり答えたりすることができる。
外国語理解の能力	①教科書の文を聞いたり読んだりして、内容を理解できる。 ②家族や友達の紹介を聞いたり読んだりして、内容を理解できる。
言語・文化に関する知識・理解	①正しい語順や語法（新出文型）を用いて文を構成する知識を身につけている。 ②新出単語（特徴を表す形容詞も含む）の正しい発音・意味を理解できる。 ③人称代名詞の意味と用法を理解できる。

### 5 指導計画および評価基準（9時間取扱い）

時	学習内容	指導上の留意事項	関	表	理	知	評価基準・評価方法
1	形容詞 （特徴を表す語） を覚えよう	友達・家族紹介の英作文につなげる。				○	特徴（外見や性格）を表す単語の発音と意味を理解できる。 【観察・ワークシート】
2	人称代名詞 を覚えよう	使い方に関しては段階的に指導していく。				○	人称代名詞の意味と使い方を理解できる。 【観察・ワークシート】
3	Who～?の 疑問文と その答え方	既習事項のWhat～?と比較しながら説明を行う。		○			Who～?の文を用いて、知らない人について情報のやりとりができる。【発表】

4	教科書の 内容理解 (Lesson4 Part1&2)	代名詞が指す 人・ものを意識し て読ませる。			○	教科書の文を聞いたり、 読んだりして内容を 理解することができる。 【発表・ワークシート】
5 本 時	Whose～?の 疑問文と その答え方	定着を図るた め、変化のある繰 り返しの練習を行 う。			○	Whose～?の文を用い て、物の持ち主につい て尋ねたり、答えたりで きる。 【発表・ワークシート】
6	教科書の 内容理解 (Lesson4 Part3&4)	代名詞が指す 人・ものを意識し て読ませる。			○	教科書の文を聞いたり、 読んだりして内容を 理解することができる。 【発表・ワークシート】
7	自由英作文 「家族・ 友達紹介」	教科書の英文等 を例文として活用 させる。	○			積極的に英語で書こう としている。 【観察】
				○		家族や友達についての 紹介文を英語で正しく 書くことができる。 【ワークシート】
8	スピーチ 「家族・ 友達紹介」	発表時には写真 やイラストを活用 させる。	○			積極的に英語を話そう としている。 【観察】
9	Lesson 4 単元テスト (ALT面接及 び筆記)	スピーチ後には ALTからの質問 に答え、双方向の コミュニケーション になるようにする。			○	家族や友達について 相手に伝わるように話 すことができる。 【面接テスト】
						○

## 6 本時の展開

(1) 目標 Whose～?を用いて持ち主について尋ねたり、答えたりできる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される生徒の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 15分	1 ウォームアップ ・英語でのあいさつ。 2 復習 (帯学習) ・人称代名詞一覧表の発音。 ・形容詞かるたゲーム。 3 新出文法の導入 (クイズ) ・教科書の挿絵の一部を見せて、それが誰の持ちものかを当てさせる。 Whose soccer ball is this ? Whose racket is this ? など	・英語授業の雰囲気づくりを行う。 ・音楽を使ってテンポよく発音させる。 ・カルタの前に発音を確認する。 ・登場人物を黒板に提示し、クイズの答え (持ち主) をノートに書かせる。 ・既習のレッスンの内容を思い出させる。	i-pod・スピーカー  PC プロジェクタ スクリーン
課題 持ち主について尋ねたり、答えたりできる。			
展開 30分	4 文法の確認 (説明・練習) (1) チャンツ ・教師のあとにリピート。 ・AとBの役割に分かれる。  (2) 文型の説明 Whose～? の文とその答え方について説明する。  (3) パターン・プラクティス スクリーンに絵と文字を提示し、言葉を入れ替えてさまざまな文を言わせる。  (4) 理解の確認 日本語を英語に直して書かせる。  5 自己表現 (スキットづくり) (1) 対話文づくり。 (2) 発表。  【言語活動】発表 聞き手を意識して、相手に伝わるように話し方を工夫する。	<b>徹底指導 (ポイント)</b> ターゲットセンテンスである、Whose～? の文をチャンツやパターン・プラクティスで繰り返し言わせ、定着を図る。  ・視覚的に分かりやすいように文字・イラストを提示する。  <b>◆表現の能力 (発表・観察)</b> <b>B 基準</b> Whose～? の文を適切に用いて、持ち主について尋ねたり、答えたりできる。  〈B基準に達しない生徒への手立て〉 ○Whose～? の文とその答え方について、文型などを再度個別に説明する。  <b>能動型学習 (ポイント)</b> 学習したルールを実際の使用場面を意識して、正しく活用することができる。	PC プロジェクタ スクリーン
終末 5分	6 まとめ (本時の振り返り) ・自己評価カードの記入。	・本時の学習の要点の整理と振り返りを行う。	